

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	タイトアングル	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.524	△RG	0.045	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **5 1/4** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番

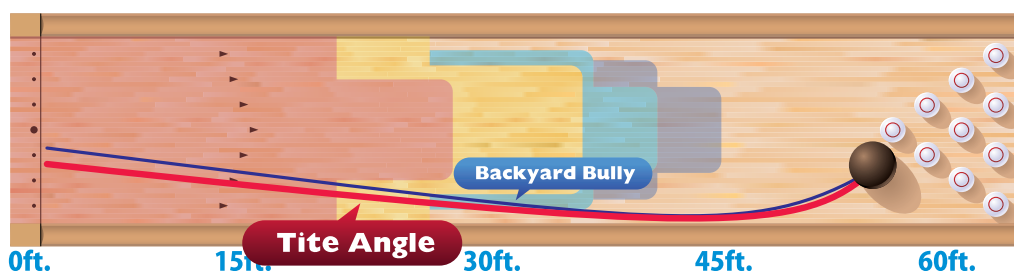
比較対象ボール：バックヤードブーリー

フレアーの幅 インチ

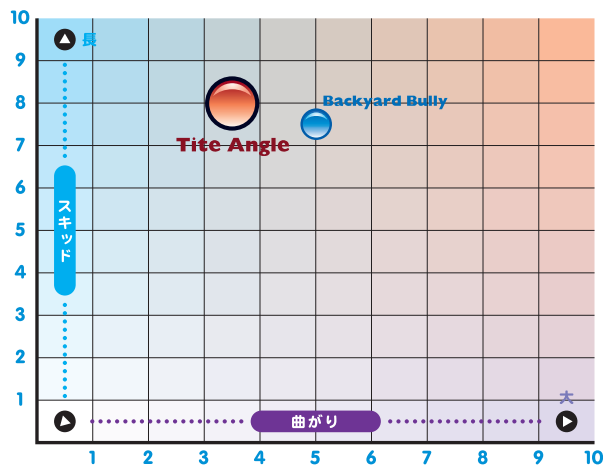
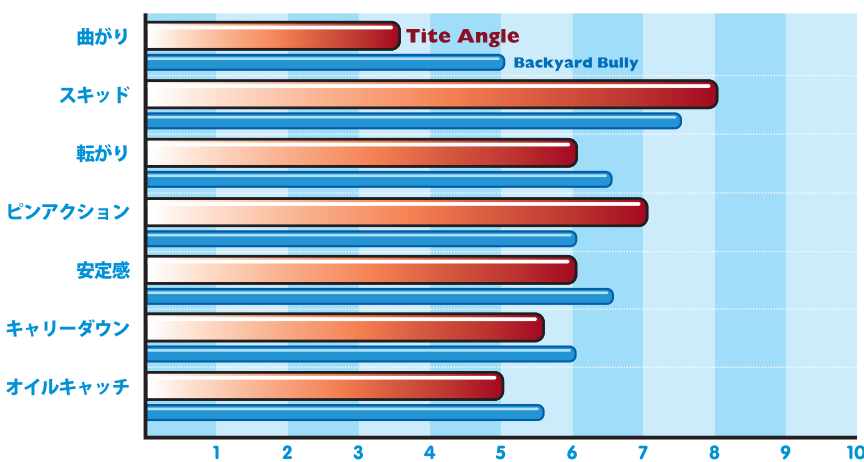
PAPからピンとの距離 **5 1/2** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- パフ



ボールの評価

スキッド感は軽く手前は良く転がるが、オイルの多い山を使おうとすると多少オイルに弾かれるような挙動をみせる。キャリーダウンにも反応を見せるので、ミディアムコンディションでの使用が最も適しているように思われる。中間設定・中フレアポテンシャルの運動特性で、スキッド感を伴うシャープとアークの中間的な曲がりを見せ、曲がり幅的に大きくはないがコントロールしやすいボールと言えるでしょう。

中間設定以下のほとんどのボールはどことなく特徴がないボールが多いため、総体的にイメージの悪いボールと感じる方も多いと思いますが、このボールの最大の特徴はピンアクションにあり、投球してみてピンアクションが柔らかく粘りのあるアクションをするので、第一印象から気に入りました。現在発売されているハイ・パフォーマンスボールと肩を並べるくらいと言っても良いくらいでしょう。

私を含め多くの方は、曲がり方のイメージとピンアクションの良いボールは手放せないものと思います。必要なのはそのお気に入りのボールのポテンシャルが発揮できるコンディションでそのボールを使用できるか否かでしょう。ミディアムコンディションもしくは外にドライゾーンがあるコンディション、ラインができてピンアクション勝負になった時に有効的な使い方ができるボールとも言えます。ピンアクションとコントロール性能が良くミディアムコンディション向きと言えば、女性の方にも好んで使用して頂けるボールと思います。

特記事項

ミディアムコンディションでの安定したコントロール性能があり、加えピンアクションが良いので、後半の荒れたコンディションや女性の方にも使用して頂きたいボールです。